つなごちゃんだより

2023年度
12 月号

〒177-0045 練馬区石神井台 3 丁目 31 番 4 号　小規模保育園手をつなご石神井台
TEL　03(6767)1204

12 月を迎えると雪が恋しくなります。プレゼントを選んだり、もらったり、小さなパーティをしたりちょっと幸せな気分になる季節でもありますね。

11 月末に尊敬する佐藤初美先生の「子どもの人権を守り、発達を保障する保育をめざして」という講演を聞きました。「みんな一緒」「いい子にすることがいいこと」「〇〇すべき」というように子どもを管理する保育の中で育った子どもたちは、自分のしたいことがわからないという状況になっていく。自分の将来や希望を描けない子どもになっていくと先生は懸念していらっしゃいました。日本では、できないところを矯正する・叱咤激励することが教育だと思っていることが多い。できるようにしたところで自己肯定感は育たないとも。

子どもたちが「僕は僕が好き」「私は私が好き」だから「みんな好き」と心から思える保育ができているのか、問い直していきたいと思います。

園長　浦山恵美子

今月のねらい

- 手洗い、洋服の着脱などが丁寧に行えるように援助する。
- 生活や遊びの中で「ことば」で伝わる楽しさや表現する楽しさを味わう。
- 季節の行事の雰囲気を味わう。

今月の予定

13 日（水）年末お楽しみ会
14 日（木）避難訓練
20 日（水）身体計測
22 日（金）地域交流会

年末年始の保育園休園日
12/29（金）～1/3（水）

＊次回保護者会は 2/9（金）夕方の予定です

４つのお願い・・・その後

４つのお願い
- 暗証番号は大人が押します
- タイムカードは大人がします
- 自動ドアのボタンは大人が押します
- おもちゃは持ってきません

先日、保育園からご家庭へ４つのお願いの手紙を配布しました。保育の中でもこのお願いを子どもたちにお話ししました。みんな真剣に聞いていて、心に伝わっていることがわかりました。
大人がしっかり向き合って伝えれば、２歳児は子どもたちなりに理解するということを、今回私たち大人に教えてくれました。うさぎぐみの成長を頼もしく感じます！子どもたちにも成長を嬉しく思っている私たちの気持ちを伝えています。たくさん認めてもらって「自分はできるんだ！」という自信を、いろいろな経験を通して積み重ねていってほしいです。

これも保護者の方のご協力があってこそです。ありがとうございました。

♫新しいおもちゃが仲間入り♫

＜メモリーカード＞
神経衰弱のようなカードです。このような遊びができるようになりました！

こちらの QR コードから保育園のホームページ・おたよりをご覧になれます。

子どもの様子

11 月は急に寒くなってきましたが、子どもたちは体調を崩すこともなく、全員が揃って登園する日が多くありました。「今日は●●くん（ちゃん）は？」と登園確認する姿にも成長を感じます。

室内ではごっこ遊びが盛んで「お母さんになる」「ばぶちゃんになる」「お兄さんになる」などと子どもたちで役割を決め、遊んでいます。以前は、保育士が赤ちゃん役でみんながお母さん役という１対複数名のごっこあそびだったのが、役割遊びを好むようになってきました。

「ほら、走ってないで歩いて！」と子ども役の子に声かけているママ役のすがたをみると、保育士や保護者の方の様子をよく見ているんだなぁ～とクスっとなります。

「新しいおもちゃが仲間入り♫」でも紹介しましたが、カード遊びを取り入れました。少人数で、少数のセットを使って遊ぶことから始めています。メンバーや状況によっては「ちらっと見ていいタイム」を設けたり、「当たるまでめくっていいよ」と特別ルールを設けたり、保育士が少し手助けをして行っていますが、回数を重ねるごとに記憶を頼りにめくってセットにする姿もみられるようになってきました。

また絵を描いて、その形に切って、動かして遊ぶ。など、自分たちから想像豊かに制作遊びを広げることも増えてきました。「考える」「形にする」「共有する」ことを、今とっても楽しんでいる様子です。

絵本の研修を行いました！！

ねりまおはなしの会　八木田弘美先生

うさぎぐみは絵本が大好き！「どろんこハリー」「めっきらもっきら」など、長いお話も最後まで真剣に見ています。
「そもそも・・・絵本とは？」から始まり、おうちの方にもとても参考になる内容でしたので、Q&A 方式とともにご紹介します！

そもそも絵本とは？
「心のごはん」

心が空いたときには心のごはんが必要です。
絵本は日常では経験できないことを、自分が主人公になって想像の世界で体験できるため、元気が出ます。そして、自分が自分で良いという自己肯定感が積み上げられて行くのです。

読み聞かせのあとや、子どもが一人でぽ～っとしている時…大人はつい終わった瞬間に「さ！寝よう！」とか「どうしたの？」と言いがちですが…
それはその子の心を自分で育てている大切な時間。
現実に戻るまで少～し待っていてくださいね。

Q&A

① 同じ絵本を何度も持ってくる
好きなだけ、飽きるまで読んであげてください。いつか卒業していきます。

② 途中でいなくなる時は？
絵本の目的は絵本を楽しむだけではなく、その人を独占したい、ちょっとヒザの上で甘えたいという時もあります。気持ちが満たされていなくなる、それはそれで OK です。

③ どんな絵本を選んだら良い？
美しい言葉を使っているもの。子どもが何が好きでどんな興味があるのか、どのくらいの長さかを考慮。終わった瞬間の気持ちを、子どもと共感したいと思う本を選びましょう。

④ 年齢的に内容が難しいものはどうか？
大人は絵に目が行きがちですが、子どもはお話のイメージで本を見ています。子どもが聞いているなら、ストーリーを全部わかってもらおうとしなくても良いです。大人の声を聞いてリラックスしている時間なのかもしれません。

⑤ 読み聞かせの動画や CD もあるが・・・
知らない人の声よりも、お父さんお母さんの声が一番！！また、BGM で音楽が流れるものはイメージがついてしまいます。子どもには自由に自分のイメージを大切にしてほしいと思っています。